

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校	平成22年4月1日	宮路 信美	〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町2丁目4番26号 (電話) 06-4397-2458																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人 大原学園	昭和54年4月1日	中川 和久	〒101-0065 東京都千代田区西神田1丁目2番10号 (電話) 03-3292-6266																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
商業実務	商業実務 専門課程	総合ビジネス学科		平成22年文部科学省 認定	-														
学科の目的	本校は教育基本法および学校教育法にもとづき、マナー指導はもちろん、ウェディングならびにビューティーに関する教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することを目的とする。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1,700	525	1200	1290	0	0												
時間																			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
80人	23人	3人	3人	2人	5人														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表しそれぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP (Grade-Point)を与える。															
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 校長が別に定める ■冬季: 校長が別に定める ■春季: 校長が別に定める ■学年末: 3月31日		卒業・進級条件	卒業の認定は、修業年限以上在学し、1700時間以上を履修し、かつ定められた授業科目及び単位数(62単位)を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 卒業・進級条件及び欠席となって事情を考慮して個別指導等を行っている		課外活動	■課外活動の種類 ・運動系クラブ活動 ■サークル活動: 有															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) ヒロウェディングコスチューム、ヴェールルージュ桔梗が丘、スタジオアリス、エイツーオー等のウェディング業界やビューティー業界 ■就職指導内容 全体指導によるレクチャー(履歴書・面接内容・その他) 個別面接トレーニング など ■卒業生数 10 人 ■就職希望者数 9 人 ■就職者数 9 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90 % ■その他 ・進学者数: 1人 (令和 2 年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国家検定 ブライダルコーディネート 技能検定 3級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>認定エステティシャン エステセンター試験</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国家検定 ブライダルコーディネート 技能検定 3級	③	7人	6人	認定エステティシャン エステセンター試験	③	3人	3人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
国家検定 ブライダルコーディネート 技能検定 3級	③	7人	6人																
認定エステティシャン エステセンター試験	③	3人	3人																
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 令和2年4月1日時点において、在学者25名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者24名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由1名 ■中退防止・中退者支援のための取組 (1) 欠席等の防止 一定の欠席累計到達者に対する面談による改善指導など (2) 学習に対する意欲低下 目指す職業に就くためへのカリキュラム(検定試験含む)の必要性を説明するガイダンスなどの定期的実施にする。 (3) その他 学校行事などの運営(運動会・球技大会・研修旅行(海外・国内))		■中退率 4 %																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ①試験による特別奨学生制度: がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ②資格・クラブ活動による特別奨学生制度: がんばる人を支援するために「資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ■専門実践教育訓練給付: <input checked="" type="checkbox"/> 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/school/nanba/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①卒業生の主な就業先であるホテル・ブライダル企業・ネイルサロン・エステサロン・美容室等と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②ブライダル分野ならびにビューティー分野における学修の中心となるブライダル知識、ネイル業界、エステティックの知識、そのたビジネススキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

②意思決定の過程について

- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
宮路 信美	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 校長	—	
高芝 徹	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 副校長	—	
山本 省二	大原学園 関西圏 就職本部	—	
藤井 智香	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 教務部 課長	—	
江口 美貴	一般社団法人 全日本ブライダル協会 理事	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西野 一登	株式会社CUSCUS 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
杉岡 やす子	日本エステティック協会 職業実践委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
高野 芳樹	株式会社TAT 代表取締役社長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、11月)

(開催日時(実績))

令和2年度 第1回 令和2年8月5日

令和2年度 第2回 令和2年11月18日

令和3年度 第1回 令和3年8月5日

(開催日時(予定))

令和3年度 第2回 令和3年11月17日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

2020年度 第1回目の委員会においては、コロナの影響化における検定協会側の動き・各企業の対策状況などについても最新の情報をお伺いした。また新委員の西野様からは卒業生が複数名活躍している実情から、当校の卒業生の強み・弱みをご指導いただいた。またTAT高野様からもITリテラシー教育に関するアドバイス等もあった。上記アドバイスを基に、ネイル検定でのハンドの利用や、その他ビューティー系検定でのウィッグの利用・ゴーグル型のフェイスガードの利用・ITリテラシーのカリキュラムへの反映等ひとつひとつ取り組んでいくこととした。

2020年度第2回目の委員会においては、コロナ禍の企業業界の動きを中心に必要となる技術技能の意見交換をし、学生サロン、ITリテラシー教育、接客RPGなど具体的な教育内容や手法につきご助言頂戴し、2021年度以降の授業カリキュラムに反映させるべく、調整している状況である。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①ブライダル分野における実習・演習は、インターンシップや現場での実習やその前後の指導を通じて、現場レベルのウェディングスタッフとしてのスキル構築を行う。
- ②ビューティー分野における実習・演習では業界のプロによるサロンワークなどを含めた実技指導を行う。
- ③企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ④企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ウェディングならびに、ビューティー分野の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容構築へのサポートならびに直接指導。
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認。
- ③ 授業方法に関する教員への指導。
- ④ 学生の学修習熟状況の評価。

オリジナルウェディングにおいては実際の披露宴会場と提携を行って実施している。実習授業開始前には企業との連携を行い、事前指導に関する指導サポートを行っていただいている。また指導に際し、その会場に合わせた内容を学生へと指導できるように、教員への指導も実施。また、学内でのプランニングを行っている内容について、施設の方からアドバイスを頂戴しながら、さらに改善を行い、現地リハーサル・当日へとつなげていく。企業の方からは学生の習熟状況についての評価を受け取り、学生へとフィードバックを行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイク基礎 I	メイク業界のプロからスキンケアやセルフメイクの技術を学ぶ	社団法人 JMA ならびに 渡辺 幸美 等
ウェディングブーケ概論	新郎新婦の最高の一日の演出を創造する為のフラワーコーディネートの技術と空間を演出する発想力をお花に触れながらイメージして学ぶ	株式会社ヴルーメン
ホテル・ブライダル現場実習 I・II	事前に指導を行ったうえで週末を利用し、実際に会場にて現場の仕事を学ぶ。	株式会社Pacific Diner Service・株式会社ベストブライダル・アニヴェルセル株式会社 等
認定エステティシャン I・II・III・IV	エステ機器の正しい知識と技術・身体に対する基礎知識とボディ手技手順を学ぶ	社団法人日本エステティック協会 ならびに 山岡 美佐子
オリジナルウェディング	卒業研究発表である模擬披露宴に向けての実技演習・準備を実施する。連携企業のプロによる指導やそれに基づいたトレーニングを実施する。	株式会社ニューオーサカエンタープライズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。「大原学園教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内・郊外において企画する研修は下記の通りである。

- ①教職員研修規定 第10条(職場内教育)(2)の通り、教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣し実践的な知識・指導スキル研修を開催する ((株)TAT・(株)CUSCUS・(株)ヴルーメン・日本エステティック協会等)
- ②教職員研修規定 第10条(職場内教育)(2)の通り、大学講師や各協会の認定講師等、専門分野に特化した方を講師として招いた研修会の実施 ※ ①・②は5月～1月頃まで月に1回 程度のスケジュールで開催する。
- ③教職員研修規定 第11条(職場外教育研修)(2)の通り、業界団体の開催する研修会への参加 (関西ブライダル懇話会・ウェディングスビューティーフル協会・日本ブライダル文化振興協会・日本エステティック協会・JMA 等) ※ 年に数回行われる協会主催の研修会へと参加し、最新の知識を入手する。
- ④教職員研修規定 第11条(職場外教育研修)(2)の通り、各自治体等が実施する指導者向けセミナーへの参加 (大専各 主催指導力セミナー等)

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

(ア)

研修名「動画コンテンツを生かした実務学習」(連携企業等:株式会社ジャスマック ウェディングズビューティフル協会)
期間:2021年3月23日(火) 対象:ブライダル・ビューティー教員
内容:動画コンテンツを活用した婚礼業界を想定したデジタルツールの紹介と、コロナ禍での婚礼業界についての研修。
ドレスコーディネーター授業・ウェディング授業を行う上での知識向上に当たる。

(イ)

研修名「メイク業界 知識向上研修」(連携企業等:社団法人JMA)
期間:2021年7月19日(月) 対象:学内メイク指導講師
内容:メイク検定2級・3級改定についての知識・技術力向上研修。メイク指導を行う上での、知識向上に当たる。

(ウ)

研修名「メイク業界 知識・技術向上研修2」(連携企業等:社団法人JMA)
期間:2021年8月3日(火) 対象:学内メイク指導講師
内容:メイク検定1級改定に関する知識・技術力向上研修。メイク指導を行う上での、知識向上に当たる。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「チームで生徒をとらえる ～カフェからの『気づき』を通じて～」(連携企業等:大阪専修学校各種連合会)
期間:2021年7月28日(水) 対象:ブライダル・ビューティー課教員
内容:学生指導に関する研修。佐野工科高等学校定時制の課程、西成高等学校のケーススタディをもとに生徒に対する接し方など学生指導方法について学習する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

2021年度につき受講済

② 指導力の修得・向上のための研修等

(ア) 研修名「大切な家族を自死で失った子どもの理解と支援」(連携企業等:大阪府主催セミナー)
期間:令和3年11月8日(月) 対象:ブライダル・ビューティー課教員
内容:大阪府では1日に約3～4人の方が自殺により亡くなっている。自死遺族、特に遺された子どものこころのケアと、相談支援体制の充実が課題となっている。この研修で現状の理解を深め、より適切な相談支援を行うことができるようになることを学習する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、管理職を通じて改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2) 学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3) 教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導體制はあるか。
(4) 学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5) 学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6) 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8) 財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。

(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

社会状況を鑑みるとウェディング業やビューティー業界において就労環境の変化があり、希望する分野や職種での就労が難しい現状がある。そこで、就労活動として、業界や職種を幅広くとらえる必要がある。学生向けガイダンスや面接トレーニングで意識させるよう取り組んでいく。また、リモートを活用した面接が多くの企業で導入されてきているため、話し方や表情への意識を再確認する。また、卒業生の社会適応能力についても意見を頂いた。サービス提供の際の接客する場面で、臨機応変な対応が必要となるケースが多く、日々の学生指導においてこれまで以上に強く意識していくことを確認した。クラスでの担任の指導はもちろんのこと、全員参加の各種学校行事やクラブ活動を通じて、社会適応能力を高める環境を積極的に提供していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
江口 美貴	株式会社 ヴルメン 代表取締役 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (ブライダル)
高野 芳樹	株式会社TAT 代表取締役 社長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (ビューティー)
濱野 浩行	株式会社JTB 神戸支店 営業第三課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (旅行)
中村 悦治	東武トップツアーズ株式会社 関西支社 第二営業部 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (旅行)
塩谷 典子	株式会社TEI 大阪支店 支店長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (エアライン)
吉田 美穂子	株式会社阪急阪神ホテルズ 採用担当統括マネージャー	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員 (ホテル)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ(公表時期:令和3年9月30日)

URL:<http://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の募集
(11)その他	各学科の担当教員紹介

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページにて公開

URL:<http://www.o-hara.ac.jp/about/hvoka>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 総合ビジネス学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			一般教養Ⅰ	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	1前	30	1		○		○	○			
2	○			一般教養Ⅱ	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	1後	30	1		○		○	○			
3	○			一般教養Ⅲ	常用漢字を理解し、適正に使えるための手法を学ぶ。	2前	30	1		○		○	○			
4	○			キャリアデザインⅠ	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	1後	30	1		○		○	○			
5	○			キャリアデザインⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	2前	30	1		○		○	○			
6	○			色彩概論	色彩に関する基本ルールを学び理解を深める	1前	30	1	○			○	○			
7	○			色彩応用	色彩基礎の知識を活用し、色彩検定3級レベルの知識の定着を図る	1前	60	2		○		○	○			
8	○			ウェディング基礎	ウェディングにつながる業界の学生が知っておくべきウェディングの基礎を学ぶ	1前	30	1	○			○	○	○		
9	○			マナー・プロトコール	マナー・プロトコールの基本的知識を学ぶ	1後	60	2	○	○		○	○	○		
10	○			メイク基礎Ⅰ	メイク業界のプロからスキンケアやセルフメイクの技術を学ぶ	1前	30	1			○	○		○	○	
11	○			言語知識(英会話)Ⅰ	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。	1前	30	1		○		○		○		
12	○			言語知識(英会話)Ⅱ	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。	1後	30	1		○		○		○		

13	○		言語知識 (英会話)Ⅲ	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで 全員が発話しつつ授業を進めていく。	2 前	30	1		○		○			○
14	○		接客サービス 実践Ⅰ	接客の現場基礎知識を基に、接客対応につい て指導する。	2 前	30	1			○	○		○	○
15	○		接客サービス 実践Ⅱ	様々な職種の実技を行い、ロールプレイング 形式での接客を行い、視野を広げ接客スキル を高める	2 前	60	2	○	○		○		○	○
16	○		マーケティング 概論	マーケティングの必要性と目的を学習す る	2 後	30	1	○			○		○	
17	○		ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 後	60	2	○	○		○		○	
18	○		プレゼンテーショ ン概論	企画から発表までの一連の流れを学ぶ	2 後	30	1		○		○		○	
19	○		時事研究	現代社会における主要な時事の基本用語を理 解し、自分の考えや意見を持つための学習	2 前	15	1	○			○		○	
20	○		WORD基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解す る	1 後	30	1		○		○		○	
21	○		Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	2 前	30	1		○		○		○	
22		○	ウェディング キャリアデザイ ン	ウェディング業界や職種について理解し発表 する力を伸ばす	2 前	60	2		○		○		○	
23		○	ウェディング 基礎Ⅱ	ウェディングスタッフが知っておくべき披露 宴の演出や、付帯サービスについての理解を 深める	1 前	30	1	○			○		○	○
24		○	ウェディング 実務Ⅱ	ウェディングの基礎についての理解を深め、 ブライダル検定2級レベルの知識を身につけ る	1 前	30	1		○		○		○	○
25		○	ウェディング ブーケ概論	新郎新婦の最高の一日の演出を創造する為の フラワーコーディネートの技術と空間を演出 する発想力をお花に触れながらイメージして 学ぶ	1 前	30	1		○		○		○	○
26		○	ウェディング 概論Ⅲ	ウェディングスタッフが知っておくべきウェ ディングについてより深く学ぶ	1 後	30	1	○			○		○	○
27		○	ウェディング 基礎Ⅲ	ウェディングスタッフが知っておくべきウェ ディングについてより深く学ぶ	1 後	30	1	○			○		○	○

28	○	ウェディング実務Ⅲ	ウェディングについての理解をさらに深め、ブライダル検定1級レベルの知識を身につける	1後	30	1		○	○	○								
29	○	接客サービス実践Ⅲ	挙式作成を通じて、ウェディングスタッフの仕事への理解を深めていく	2前	90	3			○	○	○	○						
30	○	ブライダルコーディネーター基礎	今まで学んできたことを活かしながら、ブライダルコーディネーター検定3級テキストを利用してより深い知識を学んでいく。	2後	30	1	○			○	○	○						
31	○	ブライダルコーディネーター応用	ブライダルコーディネーター検定3級合格レベルのスキルを身につける	2後	60	2		○		○	○	○						
32	○	オリジナルウェディング	チームを作成し、オリジナルウェディングを作成する	2後	180	6			○	○	○	○	○	○	○			
33	○	ビューティーキャリアデザイン	業界や職種についてのプレゼン力を向上する	2前	60	2		○		○	○							
34	○	アロマセラピーⅠ	アロマセラピーについての基礎と取り扱い方、活用事例を学ぶ	1前	30	1		○		○								○
35	○	認定エステティシャンⅠ	エステ機器の正しい知識と技術・身体に対する基礎知識とボディ手技手順を学ぶ	1前	60	2	○		○	○			○	○	○			
36	○	認定エステティシャンⅡ	プロのエステティシャンからボディエステやエステ機器の利用方法を実技を中心に学習を行う。	1後	90	3	○		○	○			○	○	○			
37	○	認定エステティシャンⅢ	ボディエステ・フェイシャルエステの実技やカウンセリングを実習を通じて学習する	2前	90	3			○	○			○	○	○			
38	○	認定エステティシャンⅣ	多様なお客様のニーズに的確に応える知識、技術、サービスを提供できる能力を深める	2後	30	1			○	○			○	○	○			
39	○	認定エステティシャン理論	認定エステティックセンター試験合格レベルのスキルを身につける	2後	30	1		○		○			○	○				
40	○	イメージプランニング	卒業制作(ビューティーに向けて)イメージを生み出し、2年間で身につけた総合的なスキルを活かし実施する	2後	210	7			○	○			○	○	○			
41	○	ウェディングキャリアデザインⅡ	ウェディング業界について理解しプレゼンテーション力を向上する	2前	30	1		○		○			○					
42	○	ブライダルマーケットⅠ	ウェディング業界の仕事の学習やウェディングスタッフロールプレイングを行う	1後	30	1		○		○			○					

43	○	マナー プロトコール 応用	マナー・プロトコールの応用知識を学び、2 級合格できるレベルのスキルを身につける	2 前	60	2	○	○	○	○	○	○	○
44	○	ウェディング プランニング	プランニング力を上げるための講義・実技指 導を行い、研究・発表能力を養う	2 後	30	1	○	○	○	○	○	○	○
45	○	ホテル実務 I	H検定B 2級対策	1 前	30	1	○	○	○	○	○	○	○
46	○	ホテル実務 II	H検定B 2級対策	1 後	30	1	○	○	○	○	○	○	○
47	○	ドレス コーディネート 実務 I	衣装についての各種の知識を学習すると同時 にドレスコーディネーターの業務を理解する	1 前	60	2	○	○	○	○	○	○	○
48	○	ネイル サロンワーク I	現役のネイリストによるジェルネイル初級実 技トレーニングと活用	1 後	30				○	○			○
49	○	ネイル 2 級 検定対策 I	ネイル検定 2 級合格レベルのスキルを身につ ける	2 前	90	3			○	○			○
50	○	中級 ジェルネイル 検定対策 I	中級ジェルネイルで利用するスキルを実技形 式で学ぶ	2 後	30	1			○	○			○
51	○	フェイシャル エステ概論 I	フェイシャルエステについての基本を理解 し、知識を深めていく。	1 前	60	2	○	○	○	○	○	○	○
52	○	フェイシャル エステ概論 II	認定フェイシャルエステティシャン合格レベ ルのスキルを身につける。	1 後	60	2	○	○	○	○	○	○	○
53	○	接客サービス I	立ち居振る舞いやコミュニケーション能力を 養い、顧客対応力をアップする	1 前	60	2	○	○	○	○	○	○	○
54	○	ホテル・ ブライダル 現場実習 I	事前に指導を行ったうえで週末を利用し、実 際に会場にて現場の仕事を学ぶ。	1 前	30	1			○	○	○	○	○
55	○	ホテル・ ブライダル 現場実習 II	週末を利用し、実際に会場にて現場の仕事を 学ぶ。	1 後	60	2			○	○	○	○	○
56	○	ネイル 3 級 検定対策 I	現役のネイリストによる実技トレーニングと 講義によりネイル 3 級合格レベルを目指す	1 前	60	2			○	○			○
57	○	ジェルネイル 初級対策 I	初級ジェルネイル向けのジェル塗布技術を学 び反復練習によって身につける	1 前	30	1			○	○			○

